



▲ 台湾No. 1の卸売百貨店



▲ 日本人社長および製造部長の説明を聞く

急激な経済発展の裏に台湾人の活力としたたかさが…!!

この研修で、我々は台湾について今まで以上の知識を持つことができました。現在の台湾はいろいろと未完成な要素を持つ一方で経済や生活は急激な発展を遂げているのが事実として認識でき、台湾の人たちの活力・したたかさを垣間見ることができました。台湾といえばコストダウンを図るために工場を作るとか、台湾製の安い商品を輸入するだけとの印象でしたが、これ

「公司」(批發：卸売りの意)での研修においては、若い支配人の林さんの説明を現地ガイドの呉さんが真摯な態度で通訳、日本から五月には十億円相当の日用品を輸入する予定であるとか、売場ではPOP広告もふんだんに描かれ高価な日本商品も結構売れるとのこと、また従業員に若い人が目立つのでそのことを質問したところ、人間は年を取る

から日本製品の輸出国としても台湾は充分に対象となるということも発見でした。幸いな事に、台湾は大きい企業は国营で、民間企業は全て中小企業です。我々の資本力でも十分にチャンスはある、また外国での習慣や国民性の違いというものは、やはり百間は一見にしかずだというのが、帰りの飛行機の中で全員の反省と収穫でした。



▲ 国際貿易センタービル内の展示場



▲ 日本の油圧部品トップメーカーであるNOK(株)の合併企業